

こんな症状、ありませんか？

症 状	代表疾患
ふるえ 体が勝手に動く	パーキンソン病、本態性振戦、ハンチントン病、脊髄小脳変性症など
頭痛	片頭痛、緊張型頭痛、くも膜下出血、髄膜炎、脳腫瘍など
見えにくい	多発性硬化症、視神経脊髄炎、脳卒中(脳梗塞・脳出血)など
痛み・しびれ	脳卒中、多発性硬化症、脊椎症、脊椎椎間板ヘルニア、糖尿病など
めまい	脳卒中、内耳性めまい、起立性低血圧、不整脈、貧血など
歩行のふらつき	脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、多発ニューロパチー、脳卒中(脳梗塞・脳出血)など
筋肉のやせ	炎症性筋疾患、筋ジストロフィー、末梢神経障害、筋萎縮性側索硬化症など
けいれん	てんかん、脳炎、脳腫瘍、脳卒中(後遺症)、電解質異常など
手足に力が 入らない	脳卒中(脳梗塞・脳出血)、ギラン・バレー症候群、多発筋炎、筋萎縮性側索硬化症など
ろれつが 回らない	脳卒中(脳梗塞・脳出血)、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、重症筋無力症など
意識障害	てんかん発作、脳卒中、中枢神経系感染症、不整脈、臓器不全、低血糖症、薬剤性など

上記にあてはまる
症状があったら、
脳神経内科医に
相談してください！



交通案内



医療法人十善会 けんなん病院

〒888-0001 宮崎県串間市西方3728

<http://www.kennan-hospital.or.jp/>



20250509版

脳神経内科専門外来



診察日

第1・3土曜日 午前

担当医

宮崎大学病院専門医

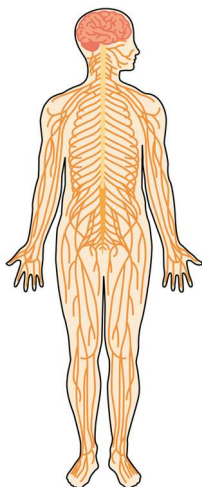


医療法人十善会 けんなん病院

TEL 0987-72-0224

脳神経内科専門外来とは

脳や脊髄から枝分かれし全身に広く分布している脳神経系について、どの部分にどのような異常が生じたか診断し、治療に結びつける診療科です。



ていねいに細かく診察します

脳や神経の病気の特徴として、CTやMRI等の画像検査で診断できるのは一部の病気のみであり、多くの病気は症状を詳しくお聞きし十分に診察することによって診断されます。



患者さんの生活を支えます

治療が難しい病気でも、痛みの緩和やリハビリの指示、診断書の作成、支援制度や団体のご紹介などを通して、患者さんとご家族の生活をサポートします。ご家族の介護負担を減らすお手伝いも行っています。



パーキンソン病について

日本では、65歳以上の高齢者のおよそ100人に1人が発症と言われており、高齢化とともに増えている、決して珍しくない病気です。

厚生労働省より「指定難病」にも認定されており、医療費助成などさまざまな支援制度があります。

脳内のドパミンが不足することで体の動きが悪くなる病気です

ドパミンが不足



- 手足がふるえる
- 動きがにぶく小さくなった
- 体がこわばる
- バランスがとれないなど

早期からの受診が大切です

症状は何年もかけてゆっくり進行します。現在は効果的な治療薬もあるため、発症から長い年数にわたり、良い状態を保つことができます。早い段階からきちんと治療をはじめることが大切です。

外 来

専門医による診断と治療を行います。医師の指示に基づき医療保険を使ったりリハビリも可能です。

入 院

当院の医療療養病棟ではパーキンソン病をはじめとする神経難病の入院治療に対応しています。

デイケア

介護保険を利用した通所リハビリテーションで、理学療法士が個別リハビリを行います。

パーキンソン病のリハビリテーション

リハビリテーション科では、症状に応じて最適なリハビリ計画を作成し、機能の維持改善をめざします。

理学療法

バランスの低下や歩行の困難さに対し、ストレッチ、筋力トレーニング、歩行・日常動作練習などを行います。



作業療法

手先の細かな動作（服のボタンかけ、袋を開ける等）の困難に対し、指先の巧緻動作訓練や生活動作の練習を行います。



言語聴覚療法

声が小さくなる、発声しにくい、飲み込みにくいなどの症状に対し、構音訓練、嚥下訓練、顔や舌の運動などを行います。

